

## 平成27年度第1回北海道立図書館協議会会議概要

日 時：平成27年7月23日（木）

会 場：北海道立図書館 会議室

出席者：協議会委員8名、道立図書館職員13名

傍聴者：なし

### 議事等

#### 1 議題

(1) 平成26年度業務実績について

#### 2 その他

会議概要 (○～委員の発言 ●～道立図書館職員の発言)

(開会前) 4月1日付け及び6月1日付けで異動した道立図書館職員の紹介

#### 1 議題

(1) 平成26年度業務実績について

伊藤利用サービス部長説明・・・資料「平成26年度業務実績報告書」参照

○ 目標値に対する実績値についての報告をいただきましたが、道立図書館としてはここ数年の何かしらの増加傾向あるいは減少傾向などのこれまでの実績があって目標を立てていると思います。そういった傾向がわかる資料はないのでしょうか？

● 道立図書館事業推進計画という5年計画があり、平成25年度から平成29年度の中で目標を設定しており、それに基づいて毎年の運営計画を策定し、その実績値を実績報告に記載しております。ただ、委員がおっしゃるとおり、経年変化が非常に見えにくい実績報告だと我々も認識しているところですので、事業推進計画に基づく経年変化や最終目標値に対しての達成状況等の観点を取り入れた報告書にしたいと、来年度に向けての検討とさせていただきます。

(ア 市町村立図書館等の活動支援－(イ) 管内図書館振興団体支援)

○ 3pの管内図書館振興団体支援について、すべての管内で実施できるように目標を設定しているものの、実施できていない理由がPR不足となっておりますが、受け入れる地域によってなかなか難しい理由があるのか、それとも道立図書館側に理由があるのでしょうか？

● 目標値を前年度まで7地域に設定し、14管内を7ブロック2グループに分けて隔年で実施しておりました。そうなりますと、例えばオホーツクと釧路を交互に募集した場合、

オホーツクがやりたいときにできない、釧路がやりたいときにできない等のタイムリーな支援ができなかったことから、すべての管内で実施できるよう14地域に拡大しました。しかしながら、PR 不足と研修会や他の事業、北海道図書館振興協議会の事業と重なっている部分もあり、また初年度の事業ということもありなかなか浸透できませんでした。平成27年度については、積極的にPRしてゆきたいと考えています。

- 14地域でできるんだよと浸透すれば、来年度以降は目標値を達成できると考えてよろしいですか？
- 14地域という目標値については検討の余地はあると思いますが、目標値で14ではなく、どこの管内でも実施しますよということをPRして、やりたい管内にタイムリーに支援できるように努めて行きます。
- 14管内でレベルアップを図っていただきたいと思って提案している事業なので、少しずつでも目標値を達成できるよう進めてゆきたいと考えております。

(ア 市町村立図書館等の活動支援－(ア) 図書館活動支援－a 運営相談事業)

(イ 図書館設置の促進)

- 中富良野町に図書館が設置されるに当たり、道立図書館としてどのような支援をしたのでしょうか？
- 運営相談事業を2回、平成26年度とその前年度にさせていただきました。具体的には、どんな本を少し多めに収集したらよいか、棚の置き方をどうしたらよいか、オープンした後どのようなところを注意したら良いか等を支援させていただいたところです。
- 4pにおいて、当別町と東川町についても支援を行っており、当別町では答申が出されたとのことですが、東川町についてはどうでしょうか？
- 当別町と同じように、利用サービス部長が委員として出向いておりますが、答申が出されたということまでで、それ以降の具体的な情報は入っておりません。せっかく当館の職員が委員になっておりますので、今後も注意深く情報を収集したいと考えております。
- 未設置の町村が図書室から図書館設置に向けて動くとき、当別町の基本構想の答申でもそうだと思うのですが、基本計画に持って行くような動きがなかなか難しいと思います。具体的に動いてゆく人材が必要ですが、道立図書館では過去も含めて準備段階での人材の紹介等の支援は何かありましたか？
- 運営相談でこの後どのようなステップを踏んだ方がよいのかという相談はありますが、道立図書館から誰が良いよ、と紹介したことはありません。求めに応じて情報提供をしております。
- 図書館づくりのノウハウを道立図書館が提供するような計画はありませんか？
- 図書館を作っていて欲しい、というのは道立図書館としても進めてゆかなければならない話ですので、計画を進めてゆこうという市町村については、当然情報収集をし

かりと我々もしてゆかなければならないなと思っておりますし、もし市町村からコンタクトがあれば道立図書館のスタッフを送り込み、様々なノウハウを伝授したいと考えています。市町村が図書館を設置するのは予算が絡んでくる部分もありますので、その動き・気運が市町村の中で動いてくれば、道立図書館としても情報提供したりノウハウを伝授したりと具体的な動きができるかなと考えております。

- 素晴らしい図書館を作り上げたくても、市町村によってはノウハウもなければ人材もないというのが現状だと思いますので、道立図書館ではもうワンステップアップした、市町村に対してこういう支援もできますというものがあれば嬉しいと思います。
- 人口減少社会ですので、どんどん人口が減ってゆく。特に小規模の市町村では、図書館を設置してゆくことは後ろ向きにならざるを得ないと思うので、これまで以上にどのような支援ができるか検討してゆきたいと思います。

(オ インターネットを活用した情報の発信－(イ) Twitterでの情報発信)

- ツイッターでの情報発信において、ツイート数が目標に達しないということですが、くだけたというのは難しいかもしれませんが、図書館の事業だけではなく、図書館職員の日々の活動を発信することで、市民や道民の道立図書館に対するシンパシーが増し、気軽にフォローしてくれると思います。
- 気軽にフォローしてくれるようなツイッターづくりができないか検討する必要があるかと思いますが、役所として情報管理に堅いところがあり難しいところはあります。
- なかなか難しいようですね。

## 2 その他（情報提供）

### (1) 北海道議会図書室の利用状況について

伊藤利用サービス部長説明

道議会図書室の利用状況について説明します。

インターネット予約貸出しについて、この4月から火曜日と木曜日に、議会図書室において、予約本の受取と返却を行っておりますが、議会事務局との打ち合わせにより、火曜日・木曜日以外の日においても、議会事務局の臨時職員が対応することによって、受け渡しが可能となっております。4月からの利用状況につきましては、これまで91冊の利用がありました。多いとみるのか少ないとみるのか微妙な数字だと思いますが、ちなみに1ヶ月当たりで市町村の図書館でインターネット予約の利用冊数を見ますと、江別市は圧倒的に多いのですが、その他の市町村につきましては20から30冊であることから、1ヶ月あたりとしては非常に多い数字でありますので、議会図書室としてはまだ始まったばかりではありますが、比較的大きな町での利用にも匹敵するのかなと考えています。今後もっと利用を促進する必要がありますので、道職員の利用促進も含めて地道にPRに努めて参ります。

道立図書館と道議会図書室との連携・支援についてですが、道立図書館は、議会事務局

からネット予約の受取場所の提供と臨時職員による受け渡し業務の補助を受け、議会事務局は、道立図書館から図書室の整備や、議員へのレファレンス対応、臨時職員への専門的な業務指導を受けるという連携内容になっています。

議会図書室の整備についてですが、古い資料を棚から抜いて、新しい本の表紙を見せるなど、魅力ある書架づくりを行っています。

資料展示コーナーの新設ですが、話題の図書の展示や新着図書コーナーの本の表紙を見せて展示するなど、工夫をしております。

協力貸出しについてはこれまでほとんど利用がありませんでしたが、今年度はすでに196冊となっております、そのうち議員の利用も40冊あります。

レファレンスも5月から記録を取り始め、事項調査19件、所蔵調査12件の計31件ありました。事項調査については、議員から11件、道職員から4件、一般利用者から4件となっております。

資料展示については、7月は人口減少対策について展示しており、8月は観光政策をテーマに展示する予定です。

道議会図書室については、入室したことのない方も多いと思いますので、道議会図書室の場所や入室方法について、当館ホームページに写真入りで掲載し、多くの道民に利用いただけるようにしております。

- 私も行ってみようかと思いました。今月の特集についても、見てみたいです。
- 素晴らしい取組だと思います。大々的にアピールしたいと思います。政策を立案する道職員や議員に対してアピールするのが大事だとずっと考えていたので、そういった方々に図書館は便利だと実感として持ってもらえれば、図書館と産業政策等か一緒になって進めてゆけると思います。図書館職員には頑張ってもらいたい。
- 特に道職員の政策能力を高めるという面で、図書館を大いに利用してもらうことに力を入れていこうと考えています。PR不足の部分はあるので、道議会図書室の近くには道教委の本庁もあることから、道立図書館としてどんどんPRしてゆきたいと考えております。
- 行政資料や議会図書室の資料は、蔵書検索対象になっているのでしょうか？
- 4万冊程蔵書があるので、古いものも含めて司書が整理している最中です。また、一般の方向けのホームページでは検索できませんが、道職員向けのポータルでは検索できます。
- それでは、議会図書室に行けば、閲覧できますか？
- 職員に尋ねていただくか、自分で見てみることにになりますか？
- 利用者用検索機器があるわけではないので、そのようになります。
- 整理に大変な労力を費やすことになると思いますが、行政資料は作成するのにとってもお金がかかっていると思いますし、なにより役に立つし、これからの町作り等を考える際の基本資料だと思います。何年度にどんな調査があつて、どんな報告書があつたかということが整理されていると、議員にとっても道民にとっても使いやすくなると思うので、ぜひ整理を進めて欲しいです。

- 今までではなかなか一般の方には利用させていなかったところがありますので、ようやく道立図書館が中に入って、いろいろな取組を促しているところがあります。せっかくタッグを組んだので、これからも色々協議してゆきたいと考えております。
- 火曜日と木曜日に、道立図書館から職員が出向いているということですが、担当者が決まっているのですか？
- 再任用の職員が出向いています。今までは議会図書室には司書が配置されていなかったのですが、レファレンスサービス等をするためには立ち上げ支援が必要だろう、ということが議会図書室に図書館職員を置くスタートだったと聞いています。そういうことがあり、当館の職員も踏み込んでいろいろな相談事に乗っています。
- 道立図書館のベテラン司書が行かれているということですが、議員だけではなく道職員の仕事にも役立つ機能をしっかり果たしてもらおうと、それが政策となって私たちにも戻ってくると思います。
- 良い政策をしてもらうためにも、職員が良い資料に巡り会えてもらえるよう、進めたいと思います。
- 情報のオープンを職員の方にもお願いします。

(2) 第66回北日本図書館大会、北海道大会・第57回北海道図書館大会について

(3) 施設・設備改修について

伊藤総務企画部長説明

私からは2点説明させていただきます。

1点目は、6月25日～26日に開催しました、第66回北日本図書館大会・北海道大会・第57回北海道図書館大会についてです。会場は、札幌市教育文化会館で、東北各県の参加者を含め、279名が参加しました。

大会の内容としましては、始めに釧路市出身の直木賞作家 桜木紫乃氏から「生まれた土地と小説」と題しまして、FMくしろのパーソナリティーの大津桃子氏とのフリートークによる特別講演を行っていただきました。桜木さんからは、図書館関係者に対し「迷える書き手と迷える読者のために頑張ってもらいたい」とのエールを送っていただきました。

参加者からは、「『図書館利用者の中には明日の書き手がいるかもしれない。』との言葉を忘れず対応してゆきたい。」、「桜木さんの人柄を知ることができた」といった感想が寄せられました。

特別講演の他には5つの分科会で研究協議を行い、第1分科会では「知的好奇心を刺激する棚づくり—なぜ図書館に人が集うのか。」を、第2分科会では「プリント・ディスプレイのある利用者のための利用者のための資料電子化サービス」を、第3分科会では「北海道からの発信『逆境が生む創造』」を、第4分科会では「暮らしに寄り添う図書館」を、第5分科会では「つながる図書館が描く未来」を行いました。また、昨年10月に開始した札幌市電子図書館について、札幌市中央図書館職員からサービスの概要と利用状況に関する報告がありました。

大会全般について、アンケート結果や参加者から直接お聞きした内容からは「今後の仕事に役立つ内容であり、多くのヒントをもらった。」「東北の図書館の取組の実例が紹介され視野が広がった。」等、概ね好評でした。

2点目として、施設・設備改修についてです。

昨年度、図書館の敷地の一部を酪農学園大学に売却したことはご承知おきと存じますが、その購入代金の一部を活用しまして、施設・設備の改修をすることになりましたので、その主なものについて説明します。

始めに研修室について、研修室の後方にある機械室を撤去するとともに、前方の仕切りを撤去し、研修室の床面積を拡大します。また、床・壁の改修を行い、天井吊りプロジェクター・電動スクリーンを設置します。

次に電動書架改修についてですが、第一書庫にあります電動書架は故障しがちなので、改修を行います。

次にトイレ改修についてですが、洋式便器をウォッシュレット付きに交換するとともに、一階に多目的トイレと身障者用のリフトを設置する予定です。

次に暖房設備改修についてですが、開所以来使用してきたボイラーを更新します。

次に既に完成しておりますが、屋外照明灯改修工事です。照明灯の支柱が腐食していたため新品に交換し、照明をLEDに交換しております。

次にこの工事も既に完成しておりますが、正面玄関改修工事です。床面のタイルを貼り替えております。

- ただいま2点報告していただきましたが、ご質問・ご意見ございますでしょうか。私は残念ながら図書館大会には参加できませんでしたが、委員の方で参加された方はいかがでしたでしょうか。
- 今までになく参加者が多く、空気がすごく柔らかいイメージがありました。ここ数年参加しているのですが、今までとは違った感じの内容だったので、良かったです。すべての分科会に出たかったのですが、第3分科会と第4分科会に参加して、普段聞くことができない話が聞けて良かったです。
- 第3分科会に参加しましたが、期待していたとおりの、興味深い話を聞くことができました。交流会にも参加しましたが、東北の図書館関係の方々からは熱意がストレートに飛んでくるような、強く学びたいという気持ちを感じました。
- ありがとうございます。結構大きな施設改修がありますが、大分お金もかかりますね？
- こういう時くらいしかチャンスがないので、できるだけ多くの改修をしたいと考えています。
- 楽しみですね。
- ここ5年の来館者がちょっと減っているのですが、この改修で使い勝手がよくなって、来館者数が増えれば良いなあと思います。

- 以上で予定されていた議題は終わりましたが、他に何かありませんか。
- 絶歌の対応について、道立図書館では購入しないと報道されていますが？
- 道立図書館としては、購入しないと決定したのではなく、現在も検討中です。遺族の心情を配慮し、今後の推移をみています。
- 国立国会図書館のように納本制度があるところと、道立図書館のように良い本を読んでもらいたいというのでは、自ずと購入するスタンスは異なると思います。限られた予算の中で、リクエストがあったら必ず買うのか、というとそういうものではないと思います。

#### 閉会挨拶

##### ●館長

本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。また、道立図書館の運営に対し様々な貴重なご意見をいただきありがとうございます。叱咤激励もいただきましたので、新しく来たスタッフを含め、色々な面で勉強し、利用者の目線にたったサービスでこれから図書館の運営をして参りますので、委員の皆様にもご指導・ご協力いただければと思いますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

今日は本当に暑い中、ありがとうございました。

(資料配付のみ)

- ・北海道立図書館報 No. 199
- ・北海道立図書館情報【平成27年7月】
- ・図書館ポータル通信 No. 6